

先輩、ありがとう～同窓生再会、母校を訪問！

【令和7年10月12日、11月8日】



10月12日(日)、昭和45年3月に本校を卒業された22回生3年B組の卒業生の皆さんに担任の市岡先生を加えた17名が学校を訪問されました。卒業後55年目を迎えられるとのこと、校歌碑(昭和59・60年度卒業生寄贈)の前で現在の学校の様子を聞き、記念撮影。その後、校舎まわりから体育館、グラウンド下まで歩を進められました。先生や級友との会話を楽しみながら散策する様子はとても和やかでした。お互いに元気な姿を見せ、明るい声が聞ける楽しい一日になったことと思います。

11月8日(土)、昭和42年3月に卒業された19回生3年B組の卒業生の皆さん14名が学校を訪問されました。赤陵会館内の「いにしへの修学旅行」の展示を見られた後、敷地内を散



策。今年卒業60年目と喜寿が重なったとのことですが、皆さんで元気にグラウンドまで上がられました。お帰りの際、校歌碑の前で、笑顔で校歌を唄い、在校当時の様子を思い出されていました。

※「いにしへの修学旅行」の展示…今夏、中山道みたけ館にて企画展として行われた後、故廣瀬五郎様のご家族及び中山道みたけ館の許可を得て展示したものです。



校歌は、学校への「誇り」や「想い」、そしてこれからの「未来」を紡いでできたものであり、本校の校歌は、花村奨作詞・芥川也寸志作曲(昭和



26年2月)によるもので、時代を越えて歌い継がれてきています。引き続き、歴史と伝統、「誇り」を受け継いでいきたいと思っています。